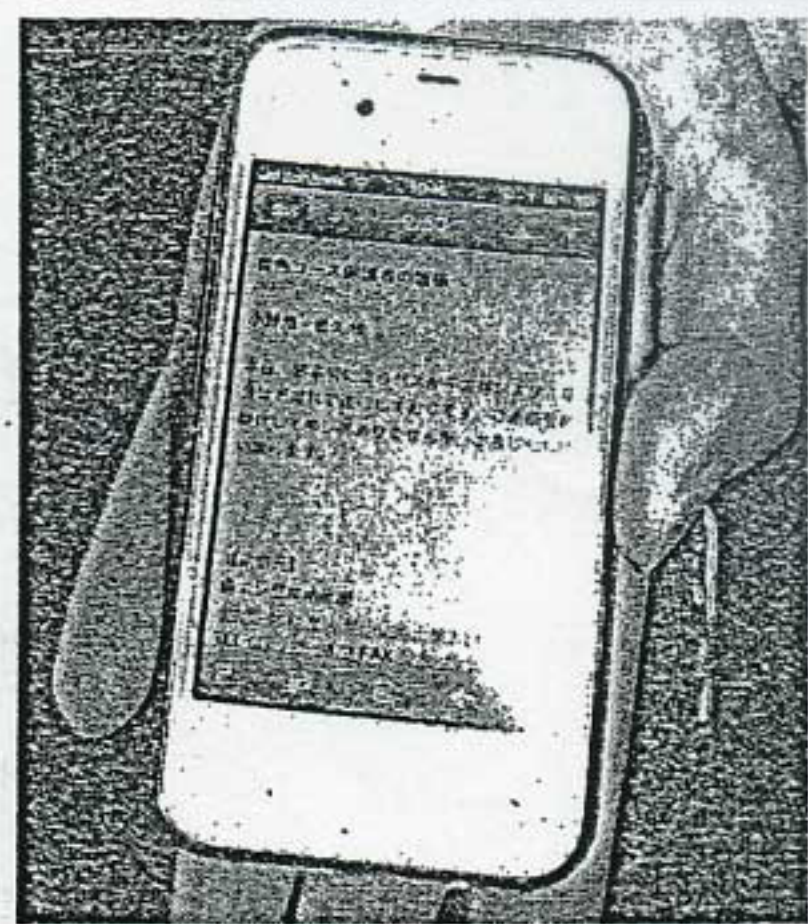


緊急連絡は携帯メール

「携帯メール連絡網」を活用する幼稚園が増えている



●2年間で契約数15倍

携帯電話のメールを使った連絡網が教育機関を中心に広がり、機能も進化している。きっかけは2年前の東日本大震災。携帯電話が通じない中、迅速に状況を保護者に伝達できた幼稚園などの評判が口コミで広がった。送り手が受信状況を確認できるなど連絡網に適した機能が評価され、震災後2年間で契約数は15倍に伸びた県内の企業もある。

震災後 教育機関で浸透

2年前の3月11日、大きな揺れが起きたのは園児を帰宅させるバスが出た直後だった。小山市犬塚の楠エンゼル幼稚園では「携帯メール連絡網」を保護者に配信。バスが大幅に遅れているが、大きな被害はないことを伝えた。小野瀬泰弘園長(38)は「携帯電話はつながらない状態。メール連絡網があったって助かった」と振り返る。同園はアサヒパワーサービス(小山市)が開発した「携帯メール連絡網」を平成20年4月から導入。一斉発信できる上、クラス別、バスのコース別に分けて送信することもできる。小野瀬園長は「電話での連絡網は時間もかかり、伝言ゲームのように違う内容になることもあった」と、効率の差を強調する。

●アンケート機能も

同社システムでは、保護者に配布したプリントでQRコードを読み取らせて空メールを送らせれば、メールアドレスを集めることができる。また、受信者が返信しなくても送り手が受信状

「アンケート機能」もつく。震災当時は約100件だった同システム契約数は2年間で1500件以上に。開発の中心となった同社の鈴木健治さん(35)は「開封状況の確認が正確にできる点などが評価された。震災以降、メール」



矢板市が行っている子育て支援メールマガジン

矢板市

出産や子育てに不安をもつママたちに役立ててもらおうと、矢板市は4月から子育て支援メールマガジン「ママほっとメール」「やいたみらいっ子通信」を配信している。

「ママほっとメール」は出産予定日などを入力すると、妊娠週数に応じてメールが届く仕組み

子育て支援にメルマガ活用

「やいたみらいっ子通信」は市内の検診情報や育児教室、各種イベント情報などが月2回届けられる。メルマガは市ホームページのリニューアルに合わせて企画。遠藤忠市長の公約の一つ「子育て環境日本一」政策の一環でもある。

購読無料。市子ども課は「初めての出産や子育てには不安がつきもの。その時々で必要な情報を発信し、子育て環境の向上につなげたい」としている。

雪と強風 山麓駅で開山祭

那須町湯本の茶臼岳で8日、那須連山の登山シーズンの到来を告げる開山祭が行われた。毎年、山頂の那須嶽神社で行われるが、この日は前日に降った雪と強い風のため、那須ロープウェイ山麓駅を会場に登山者の安全を祈願する神事などが行われた。写真。

那須ロープウェイ山麓駅には同日午前6時すぎから山頂を目指す登山客ら



偽ブランド衣類 ネット上で販売

容疑の男女逮捕

県警サイバー犯罪対策室と宇都宮南署は8日までに、偽ブランド衣類などを販売したとして商標法違反の疑いで、宇都宮市陽南、衣料品販売会社経営、河野守容疑者(44)と同居する中

を通じて千葉県と群馬県の男性2人に計1万8400円を販売した疑い。平成23年約4千回取引を行い、約1



カーネーション

12日の母の日、大学の生徒を訪れ、福田江子さん(58)の花束を贈る一行は園芸専攻する2年

○県議を28日開き代表者会を6月18日表・一般6月3日、ることも者会議で度以降、海外行政の是非が結論は出た。議いては、円が計上

○日光から基準超振興課は、性物質モで、日光採れたウナ) 野(1キ当超える同セシウム表した。バミソウの注意喚